

学校関係者評価書

平成 29 年 9 月 2 日開催

名古屋工学院専門学校

1. 学校の重点目標

1. 教員の質

1) 公開授業を通じた教員相互間の評価、学生授業アンケートのフィードバック、あるいは教員研修への積極的参加などを実施することにより、教員の教育力向上を図る。

2. 教育内容の質

1) グランドシラバスおよびそれに基づくシラバスの点検・整備などにより、自らカリキュラムの更新を継続するとともに、教育課程編成委員会において企業からのアドバイスをいただくことにより、社会から必要とされる知識・技術の導入を図る。

2) より実践的な教育を進めるため、企業あるいは関連業界団体とのよりいっそうの連携を図る。

3. 教育成果の質

1) 各分野・学科が設定している教育目標の達成度向上に向けた工夫を行い、より高い成果を実現する。

2) 就職を教育成果の最終成果ととらえ、就職率向上に向けた施策を実施する。

4. 学習環境の質

1) 学生が、日常において教育を受け生活する校舎ならびに教育施設・設備の充実について、継続した施策を実施する。

2) 卒業直前に、在学期間における本校の教育サービス全般(ハード面、ソフト面)について学生の満足度調査を行い、その結果に基づいて学習環境の改善を図る。

2. 学校の重点目標に対する評価・意見

①「教員の質」については、教員の学力向上を図るためのさまざまな施策を行っており評価できると思います。

②「教育内容の質」については、校外の一般企業からも意見を求め、改善を行っており問題ないと思います。

③「教育成果の質」については、最終的な目標を就職としています。その後の状況の把握を行い、本当に成果が上がっているのかを確認してみたいかでしょうか？

(③の回答) 学校募集パンフレット、公式Webサイトで、卒業生が活躍している状況を紹介している。しかし、卒業生で組織する校友会からの情報提供だけでは、多くを把握することができないため、企業様にご依頼して入社1年目～3年目までの卒業生に対するアンケート等の実施を検討していきたい。

④「学習環境の質」については、日進月歩の情報系システムの進化にあわせ、新たな教材を用意し改善を図っており、問題ないと考えます。

⑤基本的な対応・対策・方針については、適切に行われているようでした。映像で見せて頂いた学校理念や取り組みは素晴らしいと思います。

⑥設定されている目標については、よい取り組みをされていると思いますが、それに留まらず、学んだ専門分野への就職率など、より内容を高める指標を目標にするなど、専門性を高め内部目標の設定なども検討されたら良いと思います。

⑦学生就職指導にあたり、教員が実践して企業のインターンシップに参加しているのは大変良い事だと思います。

⑧社会で求められている教育ニーズの達成に向けて学生教育を行ってください。

⑨職場でのスキルが必要な社会ですので、何のスキルが個人に必要なかを判断し進めてください。

⑩学校が抱えている問題がよくわかり、各先生方が見直し改善に真剣に取り組まれており、保護者として、より安心して子供を預けられる学校になっていると感じます。

⑪目標に向かって前進するという先生方の前向きさは、素晴らしい事だと思いました。

⑫保護者代表の意見としては、18歳以上の生徒とはいえ、やはり保護者との連携も大切かと思えます。

3. 学校自己評価報告書についての評価点の平均

基準ごとに次の3点について4段階で評価してください	学校が行った自己評価の結果が適切かどうかについて。	学校運営等の改善に向けた実際の取組みが適切であったか。	自己評価の結果を踏まえた今後の改善方策が適切であったか。
	4: 適切な評価である 3: ほぼ適切な評価である 2: やや不適切な評価である 1: 不適切な評価である	4: 十分適切な取組みである 3: ほぼ適切な取組みである 2: あまり適切とはいえない取組みである 1: 適切とはいえない取組み	4: 十分な効果が期待できる 3: ほぼ十分な効果が期待できる 2: あまり効果が期待できない 1: 効果は期待できず、改善を要する
(1)教育理念・目標	3.8	3.8	4.0
(2)学校運営	4.0	4.0	4.0
(3)教育活動	3.8	4.0	4.0
(4)学修成果	4.0	3.7	4.0
(5)学生支援	4.0	4.0	4.0
(6)教育環境	4.0	4.0	4.0
(7)学生の受入れ募集	4.0	4.0	4.0
(8)財務	4.0	4.0	4.0
(9)法令等の遵守	4.0	4.0	4.0
(10)社会貢献	3.8	4.0	4.0
(11)国際交流	3.8	3.8	4.0

4. 今後の改善方策についての意見

- ①退学率の改善について、学力不足の学生に対するフォローアップの強化を期待します。
- ②インターンシップ等を低学年からも実施して、長期的なビジネスキャリアを構築するカリキュラムの導入を検討ください。
- ③今以上に学生の資格取得の向上を期待します。
- ④各項目での見直し改善が方策通りに行われているか、効果があったのか、軌道修正が必要なのか、経過がわかる進捗状況報告があると良いかと思えます。
- ⑤現在の学生の気質が変化し、より学習意欲や挑戦精神、将来を考えた人生目標を設定させるのが難しくなっている事が伺えました。
- ⑥専門技術だけでなく、モラルや社会常識も身につけさせるのは大変だと思いますが、今後も「教育」をしっかり行ってもらいたいと思います。
- ⑦型に囚われず社会へ送り出す最後の教育校です。学力を身に付けるのは勿論ですが、社会に送り出すという、生徒にとっては学校生活最後の場所でもあります。社会人になった時、人とコミュニケーションが取れる必要性も一つ大きな課題にしてください。今回は大変ありがとうございました。

5. 今後の具体的な改善方策

- ①基礎学力向上のための補習を継続すると共に、定期試験直前にも試験に向けた対策授業を行うなどのサポート体制を強化したいと考えている。
- ②インターンシップは、各学科の教育目的に沿うように、期間(短期インターンシップ:2週間程度、長期インターンシップ:1ヶ月間~3ヶ月間程度)を設定して実施しており、学生のビジネスキャリアを育てる効果的な仕組みであると考えているため、今後も受け入れ先の企業を増加させていきたいと考えている。
- ③資格取得は、現状の成果に満足することなく、これまで以上の成果がでるよう努力していく考えである。
- ④学校目標に対する改善は、Plan(計画)→ Do(実行)→ Check(評価)→ Action(改善)の仕組みから改善策を立てている。翌年度に改善されているかを知るための仕組みが無いため、進捗状況報告会の実施を検討していく考えである。
- ⑤⑥⑦「面倒見の良い学校」として、創設時から学生個々の性格や特徴、個性などを把握して、きめ細かい指導を行っている。企業が求める人材像の一番に挙げられる「コミュニケーション能力」に対しても、社会から歓迎される人柄を兼ね備えた人づくりができる学校として創意工夫を行っていく考えである。